SONY

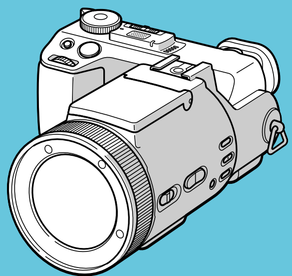
3-078-045-02 (1)

取扱説明書

サイバーショット基本編

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」、「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

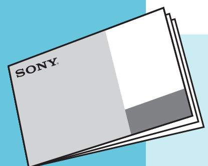


Cyber-shot
Digital Still Camera

InfoLITHIUM™ M SERIES

MEMORY STICK™

DSC-F717



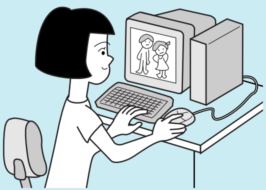
別冊の
「サイバーショット応用編／
困ったときは」もご覧ください。

こんなことができます

静止画を撮る
→ 18～28ページ

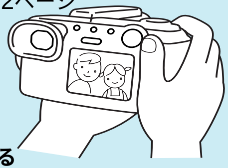


パソコンに取り込んで見る
→ 39～55ページ

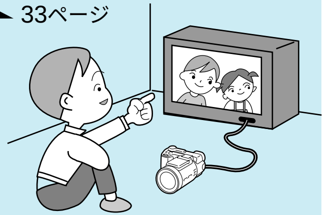


静止画を見る
→ 31～33ページ

液晶画面で見る
→ 31～32ページ

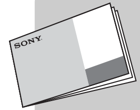


テレビで見る
→ 33ページ



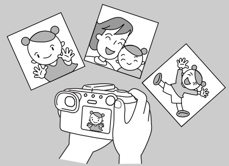
Eメールに添付して送る
→ 別冊応用編 23ページ



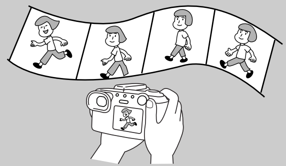


別冊の
「サイバーショット応用編／困ったときは」

いろいろな静止画の撮影／再生／編集
→ 6～36、43～53ページ



動画を撮る／見る
→ 37～42ページ



困ったときは
→ 54～67ページ

目次

別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」について

「サイバーショット応用編」では、静止画の応用的な使いかたや、動画の撮影方法などを説明しています。

また、**「困ったときは」**（54ページから）では、本機を操作していて困ったときの代表的な対処方法を説明しています。

「サイバーショット応用編／困ったときは」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**別冊応用編** ➡ ページ番号」のようにご案内しています。

お使いになる前に

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格" Design rule for Camera File system "に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影／修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、" メモリースティック "が使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面、液晶ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて

- 液晶画面や液晶ファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 液晶画面や液晶ファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

湿気にご注意ください！

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機を濡らさないようにご注意ください。結露が起きたときは、結露を取り除いてからご使用ください（**別冊応用編** → 77ページ）。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

日光および強い光に向けて本機を使用しないでください！

目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また、本機の故障の原因になります。

本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

商標について

- “Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK™、“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）はソニー株式会社の商標です。
- “メモリースティック デュオ”および“MEMORY STICK DUO”はソニー株式会社の商標です。
- “メモリースティック PRO”および“MEMORY STICK PRO”はソニー株式会社の商標です。
- “マジックゲート”および“MAGICGATE”はソニー株式会社の商標です。
- “InfoLITHIUM（インフォリチウム）”はソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime、iBookおよびPower Macは、Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

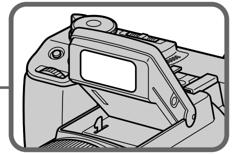
カール ツァイスレンズ搭載

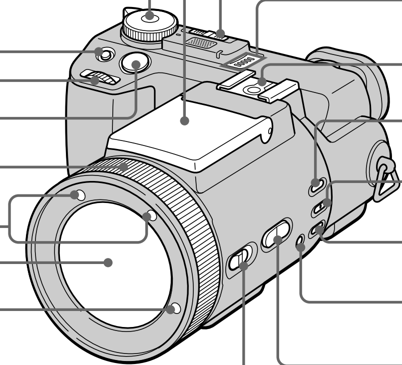
本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

モジュレーション トランスファー ファンクション
* Modulation Transfer Functionの略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

各部のなまえ

カッコ内の数字はページ数です。





モードダイヤル
- : **静止画オート撮影**
- P: **静止画プログラム撮影**
- S: **シャッタースピード優先モード**
- A: **絞り優先モード**
- M: **マニュアル露出モード**
- SCN: **シーンセレクション**
- SET UP: SET UP**の項目設定**
- : **動画撮影／クリップモーション撮影／マルチ連写**
- : **画像再生／編集**

（EV補正）ボタン（**別冊応用編** → 11）

ジョグダイヤル（**別冊応用編** → 5）

シャッターボタン（18）

マニュアルフォーカス／ズームリング（21、**別冊応用編** → 10）

赤外線発光部（**別冊応用編** → 17）

レンズ

ホログラフィックAF発光部（25 、**別冊応用編** → 74）

フラッシュ発光部（24）

NIGHTSHOT/NIGHTFRAMING **スイッチ**（**別冊応用編** → 17）

スピーカー

ホットシュー（**別冊応用編** → 25、75）

AE LOCK**ボタン**（**別冊応用編** → 14）

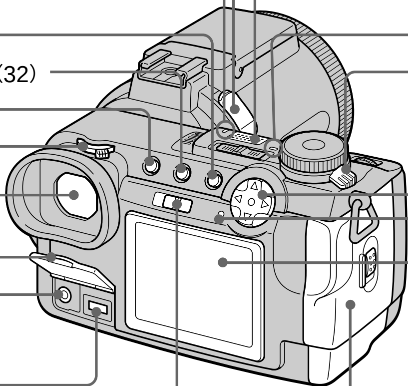
（測光モード）ボタン（**別冊応用編** → 13）

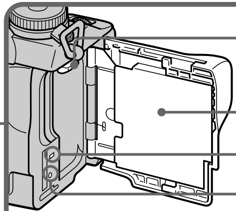
WHT BAL**ボタン**（**別冊応用編** → 16）

（ワンプッシュホワイトバランス）ボタン（**別冊応用編** → 16）

ZOOM**ボタン**（21）

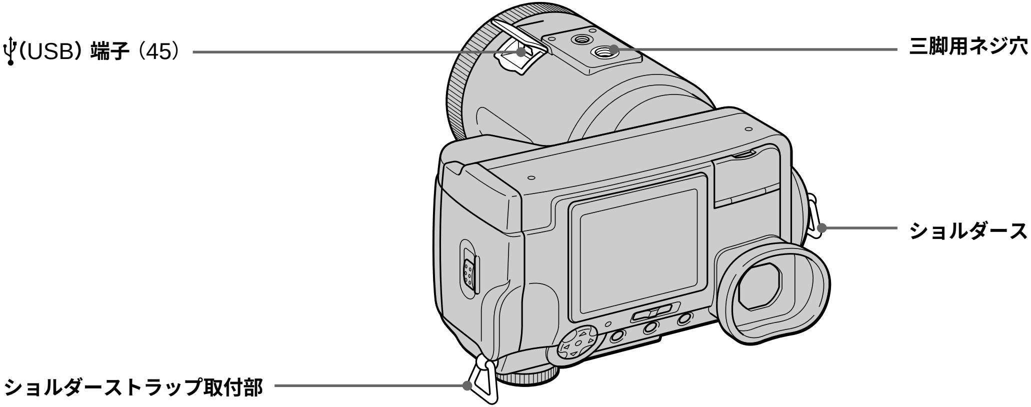
FOCUS（AUTO/ZOOM／MANUAL）**スイッチ**（21、**別冊応用編** → 10）



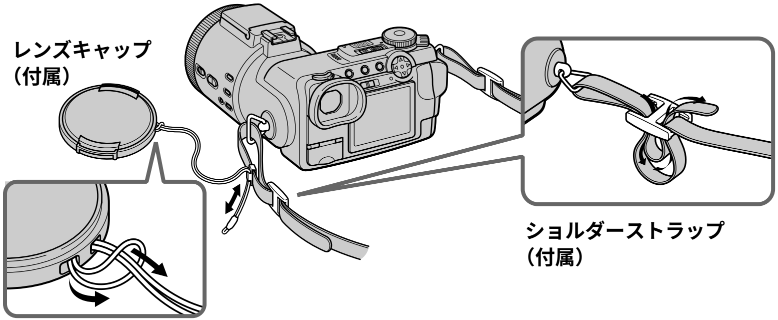


別冊の**「サイバーショット応用編／困ったときは」**に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**別冊応用編** ➡ ページ番号」のようにご案内しています。

- オーディオ出力はモノラルになります。
- 撮影時、内蔵マイクには触れないでください。
- ACC端子には外部フラッシュやリモコン三脚などを接続します。

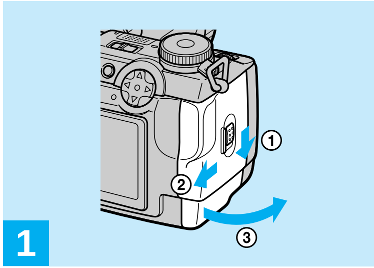


レンズキャップとショルダーストラップを取り付ける



- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

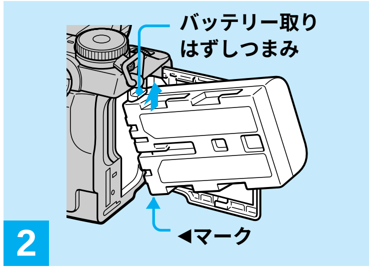
バッテリーを充電する



➡ **バッテリー／“メモリースティック”カバーを開ける**

矢印の方向にスライドさせると、開きます。

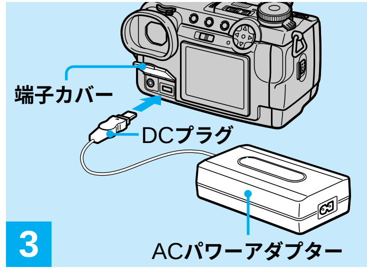
- **バッテリーを充電するときは、必ず本機の電源を切ってください**（13ページ）。
- 本機の電源には“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）NP-FM50（付属）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません（**別冊応用編** ➡ 79ページ）。



➡ **バッテリーを入れて、バッテリー／“メモリースティック”カバーを閉める**

バッテリーの◀マークを奥にして入れます。
バッテリーが奥まで確実に入ったことを確かめてからカバーを閉めてください。

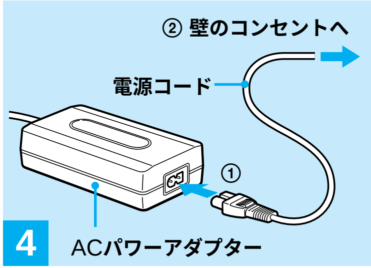
- バッテリーの先端でバッテリー取りはずしつまみを上側に押しながらバッテリーを入れると、簡単に入ります。



➡ **端子カバーを開け、ACパワーアダプターAC-L10A（付属）のケーブルを本機のDC IN端子につなぐ**

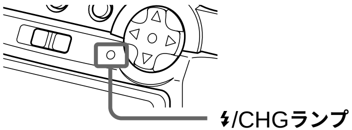
DCプラグの▲マークを上にしてつなぎます。

- ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。



➡ 電源コードをACパワーアダプターと壁のコンセントにつなぐ

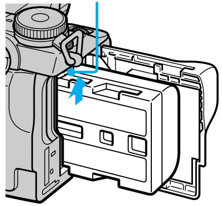
充電が始まり、ϟ/CHGランプが点灯します。



充電が終わるとϟ/CHGランプが消えます。

- バッテリーの充電が終わったら、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

バッテリーを取り出す

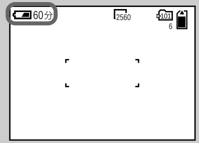


バッテリー／“ メモリースティック ”カバーを開け、バッテリー取りはずしつまみを矢印の方向に押して取り出してください。

- 取り出すときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。

バッテリー残量時間表示

撮影／再生可能な残り時間を画面に表示します。



- 使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。
- FINDER/LCDスイッチで画面を切り換えたときは、正しい残量時間を表示するのに約1分かかります。

充電時間

使い切ったバッテリーを温度25℃の環境で、ACパワーアダプターAC-L10Aで充電したときの時間です。

バッテリー	充電時間
NP-FM50（付属）	約150分

撮影／再生可能枚数とバッテリーの使用時間

次の表は撮影モードを通常撮影にし、充電したバッテリーで温度25℃の環境で使用した場合の目安です。また、以下の枚数は付属の“メモリースティック”を交換しながら撮影／再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

静止画を撮影するとき

標準撮影*1)

画像サイズ	NP-FM50（付属）	
	撮影枚数	使用時間
2560×1920	約410枚	約205分

*1) 以下の設定で撮影
- ー［画質］を［ファイン］に設定する
- ー 30秒ごとに1回撮影
- ー 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする
- ー 2回に1度、フラッシュを発光
- ー 10回に1度、電源を入／切する

静止画を再生*2)するとき

画像サイズ	NP-FM50（付属）	
	再生枚数	使用時間
2560×1920	約7000枚	約350分
640×480	約7000枚	約350分

*2) 約3秒ごとにシングル画面で順番に再生

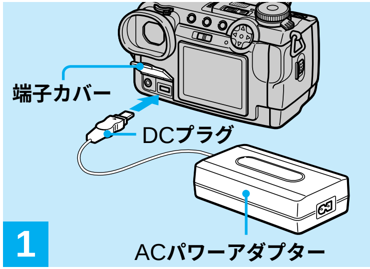
動画を撮影*3)するとき

	NP-FM50（付属）
連続撮影時	約230分

*3) 画像サイズが160×112の場合の連続撮影

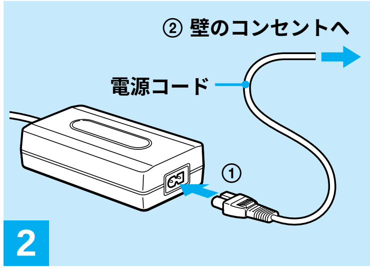
- 下記の場合は使用時間と撮影／再生枚数は、表示よりも少なくなります。
  - 周囲が低温のとき
  - フラッシュ使用時
  - 電源の入／切を繰り返したとき
  - SET UPの［LCDバックライト］、［EVFバックライト］が［明］になっているとき
  - 使用回数を重ねたり、時間が経過してバッテリーの容量が低下したとき（**別冊応用編** ➞ 80ページ）
- FINDERで撮影／再生しても、LCDで撮影／再生しても同じ数値になります。

外部電源で使う



→ **端子カバーを開け、ACパワーアダプターAC-L10A（付属）のケーブルを本機のDC IN端子につなぐ**

DCプラグの▲マークを上にしてつなぎます。

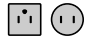
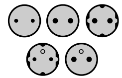
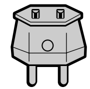


→ **電源コードをACパワーアダプターと壁のコンセントにつなぐ**

- ACパワーアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- バッテリーは取りはずしておいてください。
- 使い終わったら、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から取りはずしてください。
- 自動車電源をお使いのときは、別売りのカーバッテリーアダプターでご使用いただけます。
- バッテリー使用時にDCプラグを抜き差しすると、電源が切れることがあります。

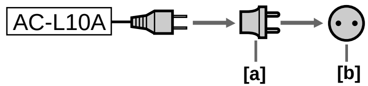
海外で使うときは

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	変換プラグアダプター
 主に北米など	不要です。
 主にヨーロッパなど	

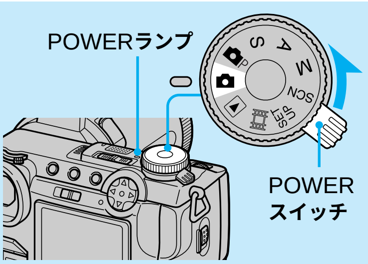
本機は海外でもお使いになれます。

- 付属のACパワーアダプターAC-L10Aは、全世界の電源（AC 100 V～240 V・50/60 Hz）でお使いいただけます。
- バッテリーの充電もできます。
- 下図のように、付属のACパワーアダプターを差し込む変換プラグアダプター**[a]**が必要になる場合があります。



- 変換プラグアダプター**[a]**／電源コンセント**[b]**の形状は旅行先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧機（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となります。

電源を入れる／切る



→ POWERスイッチを矢印の方向にずらして、電源を入れる

POWERランプが緑色に点灯し、電源が入ります。初めて電源を入れたときは、時計設定画面が表示されます（14ページ）。

電源を切る

POWERスイッチを再び矢印の方向にずらすと、POWERランプが消え、電源が切れます。

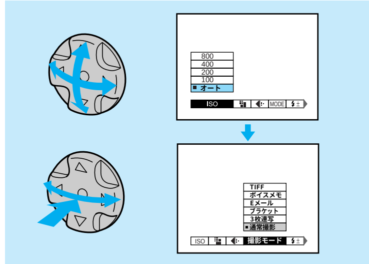
オートパワーオフ機能

バッテリーを使って、撮影、再生またはセットアップを行っているとき、本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。

ただし、バッテリー使用中でも、下記の場合はオートパワーオフ機能は働きません。

- 動画再生時
- スライドショー時
- ⯀(USB）端子、またはA/V OUT（MONO）端子にプラグが接続されているとき

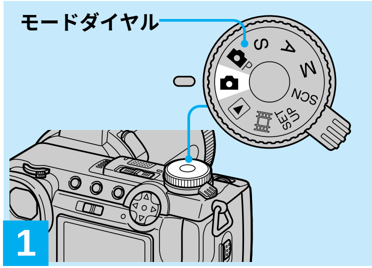
コントロールボタンについて



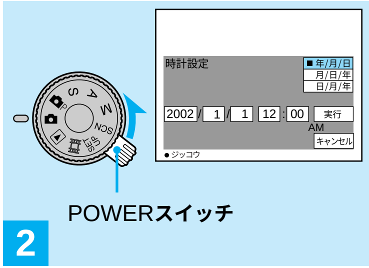
本機の設定を変えるときは、画面にメニューやSET UP（**別冊応用編 →** 4ページ）を表示させ、コントロールボタンを使って操作します。

各項目を設定するときは、コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して、項目や設定を選び、最後に中央の●、または◀/▶を押して決定します。

日付／時刻を合わせる

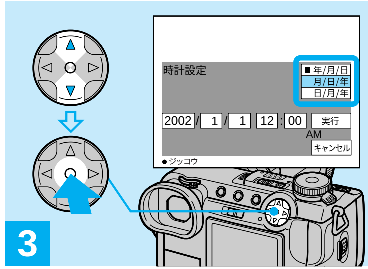


➡ **モードダイヤルを「📷」にする**



➡ **POWERスイッチを矢印の方向にずらして、電源を入れる**

POWERランプが緑色に点灯し、時計設定画面が表示されます。

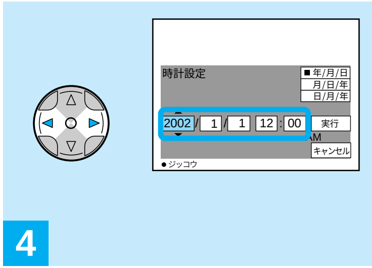


➡ **コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、中央の●を押す**

表示は、［年/月/日］、［月/日/年］、［日/月/年］の中から選びます。

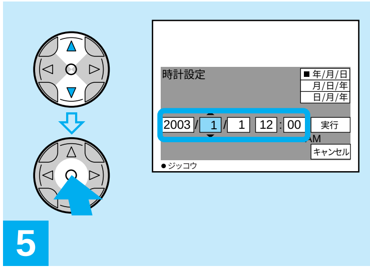
- モードダイヤルを「📷P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「▶」、「🎞」の位置にしても操作できます。
- 一度設定した日付、時刻を合わせ直すときは、モードダイヤルを「SET UP」に合わせ、［🧰］（設定2）の［時計設定］を選んでから（**別冊応用編** ➡ 76ページ）、手順**3**から行ってください。

- 時計の設定を記憶しておくための充電式ボタン電池の残量が少なくなると（**別冊応用編** ➡ 77ページ）、自動的に時計設定画面が表示されます。このときは手順**3**以降を行って日付、時刻を設定し直してください。



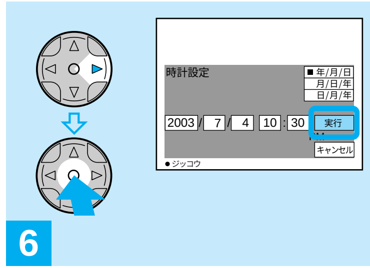
➡ コントロールボタンの◀/▶で設定する年、月、日、時、分の項目を選ぶ

設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。



➡ コントロールボタンの▲/▼で数値を設定して、中央の●を押す

数値が確定され、次の項目に移ります。上記の手順を繰り返して、すべての項目を設定してください。



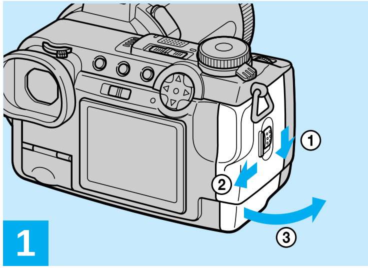
➡ コントロールボタンの▶で［実行］を選び、中央の●を押す

日付・時刻が設定され、時計が動き始めます。

- 手順**3**で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。

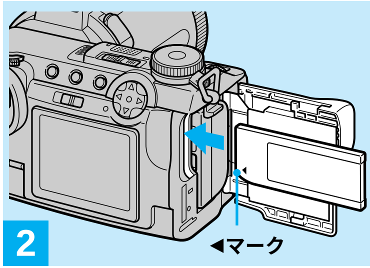
- 中止するときは、コントロールボタンで［キャンセル］を選び、中央の●を押します。

“メモリースティック”を入れる／取り出す



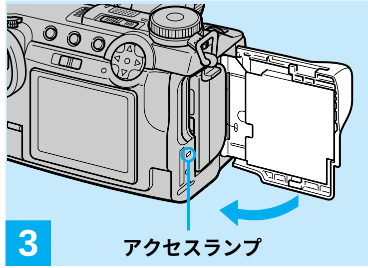
➡ バッテリー／“メモリースティック”カバーを開ける

矢印の方向にスライドさせると、開きます。



➡“メモリースティック”を入れる

“メモリースティック”の◀マークを図のようにして奥まで差し込んでください。



➡ バッテリー／“メモリースティック”カバーを閉める

“メモリースティック”を取り出すには

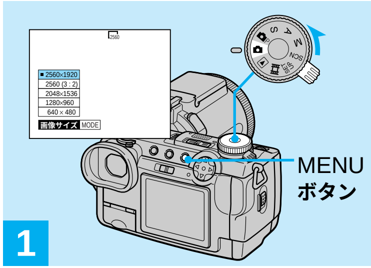
バッテリー／“メモリースティック”カバーを開け、“メモリースティック”を1回押して取り出してください。

- “メモリースティック”について、詳しくは**別冊応用編** ➡ 78ページをご覧ください。

- “メモリースティック”を入れるときは、奥まできちんと差し込んでください。正しく差し込まないと正常な記録、再生ができないことがあります。

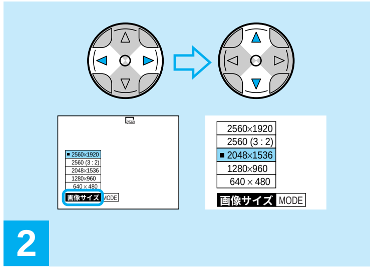
- **アクセスランプが点灯しているときは、画像の記録中、読み出し中です。このとき、絶対に“メモリースティック”を取り出したり、電源を切ったりしないでください。**

静止画の画像サイズを決める



➡ モードダイヤルを「📷」にしてから、電源を入れ、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

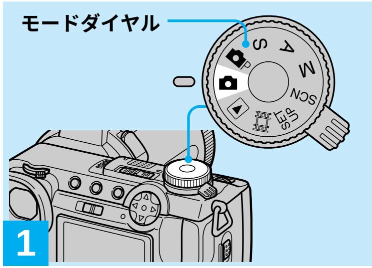


➡ コントロールボタンの◀/▶で[▦]（画像サイズ）を選ぶ。▲/▼で希望の画像サイズを選ぶ

画像サイズが確定します。
設定が終わったら、MENUボタンを押してください。画面からメニューが消えます。

- モードダイヤルを「📷P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」の位置にしても操作できます。
- 画像サイズについては、30ページをご覧ください。
- ここで選んだ画像サイズの設定は、電源を切った後も保持されます。

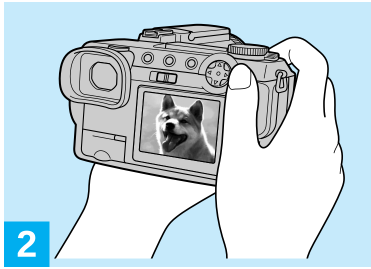
簡単に撮る—オート撮影



➡ **モードダイヤルを「📷」にしてから、電源を入れる**

レンズキャップをはずしてください。

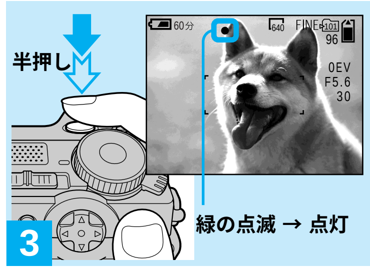
- 「📷」ではピント合わせや露出、ホワイトバランスの調整を自動でおこなうため、簡単に撮影することができます。
- モードダイヤルを「📷P」にしても操作できます。「📷」または「📷P」では、シャッタースピードが1/2000秒から1/30秒の範囲で自動調節されます。
- 本機では“ メモリースティック ”に記録するフォルダを新しく作成したり、選択することができます（**別冊応用編** ➡ 26ページ）。
- 静止画をJPEG形式で記録します。



➡ **両手でカメラを構え、被写体をフレーム中央部におさめる**

レンズやフラッシュ発光部に指がかからないようにしてください。

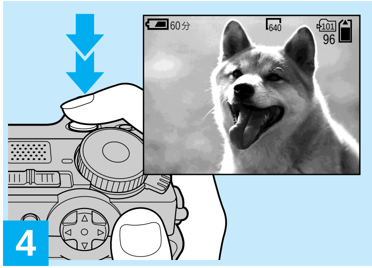
- 画質はファインに設定されます。
- 画面内に出る枠はピント合わせをおこなう範囲を表します。



➡ **シャッターボタンを半押しする**

「ピピッ」と音がします。画面内のAE/AFロック表示が点滅から点灯に変わると、撮影可能です。
撮影状況の光量が足りないと判断した場合、自動的にフラッシュが持ち上がり発光します。

- シャッターボタンを離せば、いつでも撮影を中止できます。
- ピント合わせに必要な被写体までの距離は、W側で約50cm以上、T側で約90cm以上です。これより近くの被写体を撮影するときは近接撮影してください（22ページ）。



➡ 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込む

「カシャッ」と音がして、撮影が完了し静止画が“ メモリースティック ”に記録されます。

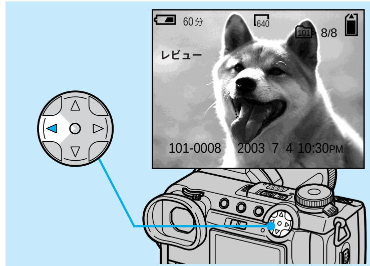
• バッテリーを使って撮影を行っているとき、本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます（13ページ）。

ピント合わせについて

ピントを合わせにくい被写体を撮影しようとしたときは、点滅していたAE/AFロック表示が遅い点滅に変わります。
オートフォーカスは、下記の条件でピントが合いにくいことがあります。構図を変えるなどしてもう1度ピントを合わせてみてください。

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体

最後に撮影した画像を確かめる—クイックレビュー



➡ コントロールボタンの◀（⊡）を押す

通常の撮影モードに戻るには、シャッターボタンを軽く押すか、もう一度コントロールボタンの◀（⊡）を押します。

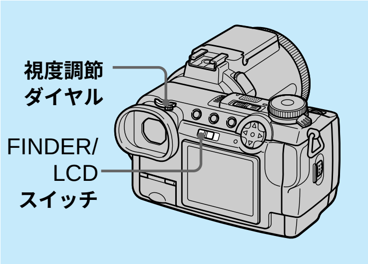
表示された画像を削除する

1 MENUボタンを押して、メニューを表示する。

2 コントロールボタンの▶で［削除］を選んで、中央の●を押す。

3 コントロールボタンの▲で［実行］を選んで、中央の●を押す。
画像が削除されます。

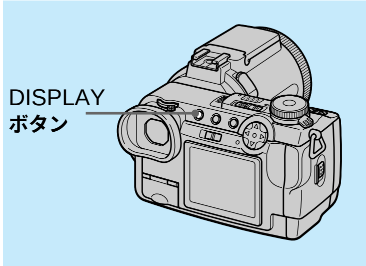
ファインダーで撮る



FINDER/LCDスイッチを使ってファインダーで撮影するか液晶画面で撮影するかを切り換えることができます。
ファインダーに設定すると、液晶画面に画像は映りません。視力に合わせて視度調節ダイヤルを回し、ファインダー内の画像がはっきり見えるように調節してください。

• 表示項目について詳しくは、**別冊応用編** ➡ 83ページをご覧ください。

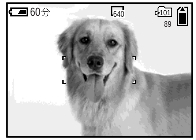
画面上の表示は



DISPLAYボタンを押すたびに、表示が次の順で切り換わります。

• 画像に表示されるマークについて詳しくは、**別冊応用編** ➡ 83ページをご覧ください。
• 画面上の表示は記録されません。

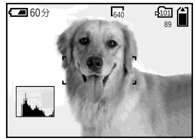
画面表示オン



↓

ヒストグラム表示オン

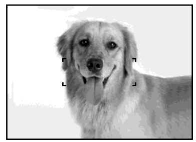
（画面左下に画像のヒストグラムが表示されます。**別冊応用編** ➡ 12ページ）



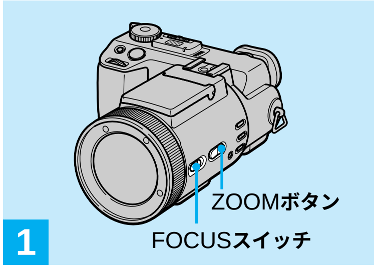
↓

画面表示オフ

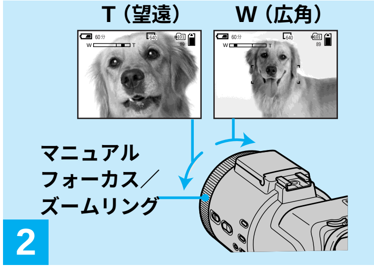
（警告表示とジョグダイヤルを使って操作可能な手動調節の数値のみ表示）



ズームで撮る



➡ FOCUSスイッチを「AUTO/ZOOM」にする



➡ マニュアルフォーカス／ズームリングを回し、希望の大きさにして撮影する

- お買い上げ時は「AUTO/ZOOM」に設定されています。
- マニュアルフォーカス使用時（**別冊応用編** ➡ 10ページ）などは、ZOOMボタンを使って撮影することもできます。軽く押すとゆっくりズームし、さらに深く押すと速くズームします。
- SET UPの［コンバージョンレンズ］（**別冊応用編** ➡ 74ページ）が［入］の場合、ズームはできません。

ピントが合うための最短距離

ズームがW側いっぱいのとき：
レンズ先端から約50cm

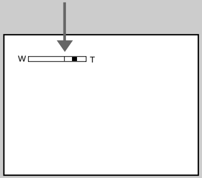
ズームがT側いっぱいのとき：
レンズ先端から約90cm

- 上記のマニュアルフォーカス／ズームリングの回転方向はお買い上げ時の設定です。リングの回転方向はSET UPの［ズームリング設定］で変えることができます（**別冊応用編** ➡ 75ページ）。

デジタルズーム

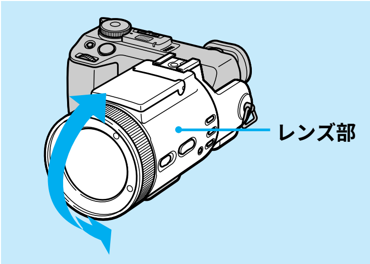
5倍を越えるズームは、画像をデジタル処理して最大10倍まで拡大するデジタルズームになります。画質は劣化しますので、この機能が不要の場合はSET UPの［デジタルズーム］を［切］にしてください（**別冊応用編** ➡ 74ページ）。

このラインよりT側はデジタルズーム



- デジタルズーム時はオートフォーカスの枠は表示されません。
- デジタルズームは動画撮影中には使えません。

レンズ部を回転させて撮る



レンズ部を上側に約77度、下側に約36度まで回転させ、角度を調節できます。

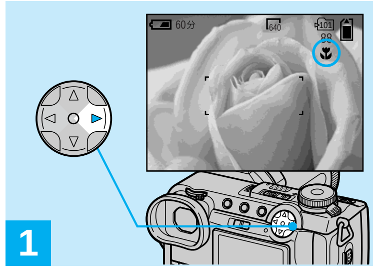
近接撮影―マクロ撮影



花や昆虫など、小さな被写体に接近して撮りたいときは、近接（マクロ）撮影をします。下記の距離まで被写体に接近して撮影することができます。

ズームがW側いっぱいのとき：
レンズ先端から約2cm

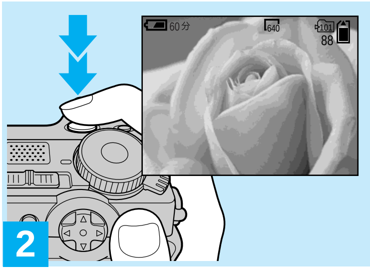
ズームがT側いっぱいのとき：
レンズ先端から約90cm



➡ モードダイヤルを「」にして、コントロールボタンの▶（）を押す

画面に（マクロ）が表示されます。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN（風景モード以外）」（27ページ）、「」の位置にしても操作できます。

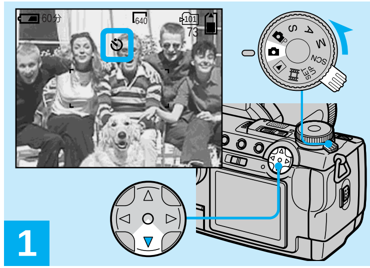


➡ **被写体をフレームにおさめ、撮影する**

通常撮影に戻すには

もう1度コントロールボタンの▶（🌷）を押してください。画面から🌷が消えます。

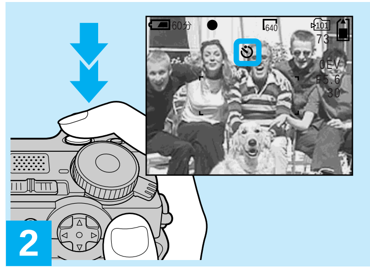
セルフタイマーで撮る



➡ **モードダイヤルを「📷」にして、コントロールボタンの▼（⏲）を押す**

画面に⏲（セルフタイマー）が表示されます。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- モードダイヤルを「📷P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「🎞」の位置にしても操作できます。



➡ **被写体をフレーム中央部におさめ、シャッターボタンを深く押し込む**

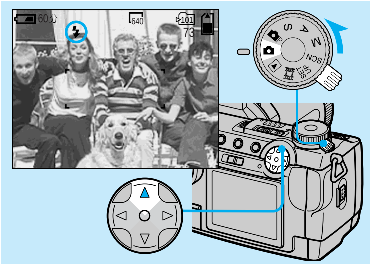
セルフタイマーランプ（7ページ）が点滅し、「ピッピッピ」とビープ音が鳴ります。約10秒後に撮影されます。

セルフタイマーを途中で止めるには

もう一度コントロールボタンの▼（⏲）を押してください。

- カメラの前に立ってシャッターボタンを押すと、ピントや明るさが正しく設定されないことがあります。

フラッシュモードを選ぶ



➡ モードダイヤルを「📷」にして、コントロールボタンの▲（⚡）を繰り返し押し、フラッシュモードを選ぶ

ボタンを押すたびに、フラッシュモードは下記のように変わります。

表示なし（オート）：撮影状況の光量が足りないと判断した場合、自動的に発光します。

↓

⚡（強制発光）：周囲の明るさに関係なく発光します。

↓

⊘⚡（発光禁止）：発光しません。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- モードダイヤルを「📷P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「🎞（クリップモーションのみ）」の位置にしても操作できます。
- フラッシュの発光量はメニューの［フラッシュレベル］で変えることができます（**別冊応用編** ➡ 71ページ）。（モードダイヤルが「📷」のときは操作できません。）
- メニューの［ISO］が［オート］のとき、内蔵フラッシュの推奨撮影距離は約0.3m～4.5mです。［オート］以外のときは、フラッシュレベルを変えても効果が得られないことがあります。
- フラッシュモードがオート（表示なし）または⚡（強制発光）のとき、暗い場所で液晶画面を見ると画像にノイズが目立つことがありますが、撮影される画像には影響ありません。
- フラッシュを充電している間は、⚡/CHGランプが点滅します。充電が完了すると消灯します。
- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、⚡/CHGランプが点灯します。
- 本機には外付けのフラッシュを取り付けることができます（**別冊応用編** ➡ 25ページ）。
- コンバージョンレンズ（別売り）をつけていると、フラッシュの光をさえぎり、レンズの影が映る（ケラレる）ことがあります。

人物の目が赤くなるのを軽減するには

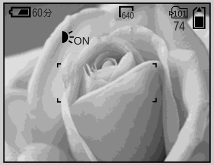
撮影前にフラッシュが予備発光し、目が赤く写るのを軽減します。
SET UPの［赤目軽減］を［入］にしてください（**別冊応用編** ➡ 74ページ）。画面に◉が表示されます。



- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。

補助光を使って撮影する —ホログラフィックAF

暗い場所でフォーカスを合わせるための補助光です。
SET UPの［ホログラフィックAF］（**別冊応用編** → 74ページ）を［オート］にしてください。お買い上げ時は［オート］に設定されています。
撮影時にONが表示され、シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間だけ自動的に発光します。



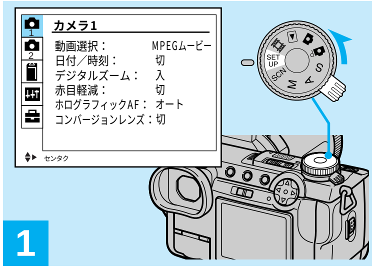
- ホログラフィックAFを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合（推奨距離は約4.5mまで）やコントラストが弱い被写体を撮影する場合、フォーカスは合いません。
- ホログラフィックAFの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- フォーカスを手動で調整しているときは発光しません。
- SET UPの［コンバージョンレンズ］（**別冊応用編** → 74ページ）が［入］の場合は発光しません。
- ホログラフィックAF発光部が汚れていると、ホログラフィックAFの光がぼやけてフォーカスが合いにくくなることがあります。このような場合は、ホログラフィックAF発光部を乾いた布などで拭いてください。
- ホログラフィックAFは明るい光です。安全には問題はありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。
- ホログラフィックAF発光部を手で覆わないようにご注意ください。
- フィルター（別売り）、ワイドコンバージョンレンズ（別売り）またはテレコンバージョンレンズ（別売り）を付けているとホログラフィックAFの発光がさまたげられる場合があります。

ホログラフィックAFとは

「ホログラフィックAF」はレーザーホログラムを応用し、 暗闇での静止画撮影を可能にしたAF補助光システムです。このシステムはレーザー出力クラス1*を満たしており、従来の高輝度LEDや高輝度ランプを用いたシステムより、目にやさしく、安全性が高いという特長があります。

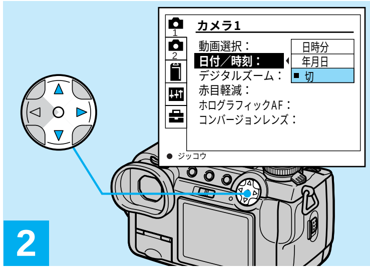
* JIS規格(JP)、IEC規格(EU)、FDA規格(US)全ての時間基準30000秒のクラス1を満たしています。これはレーザー光を直接、またはレンズなどで集光して30000秒間のぞき込んでも安全なレーザー製品を意味しています。

日付や時刻を入れて撮る

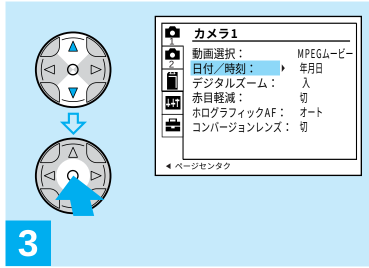


➡ **モードダイヤルを「SET UP」にする**

SET UP画面が表示されます。



➡ **コントロールボタンの▲で［1］（カメラ1）を選び、▶を押す。▲/▼で［日付／時刻］を選び、▶を押す**



➡ **コントロールボタンの▲/▼で挿入するデータの種類を選び、中央の●を押す**

日時分：画像に撮影日時分を入れる
年月日：画像に撮影年月日を入れる
切：画像に日付・時刻は記録されない

設定が終わったら、モードダイヤルを「」にして、撮影してください。

- 日付や時刻を入れて撮影すると、あとで消去できませんのでご注意ください。
- 撮影時は実際の日付や時刻は表示されず、画面左上にDATEが表示されます。実際の日付や時刻は、再生時に表示されます。
- ［年月日］を選んだ場合、「日付／時刻を合わせる」（14ページ）で選んだ表示順の年月日が挿入されます。
- モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」の位置にしても撮影できます。
- ここで選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

場面に合わせて撮る―シーンセレクション

夜景モード



夜景＆人物モード



風景モード



ポートレートモード



夜景、夜景と人物、風景、ポートレートを撮影するときは、下記のモードを使用して効果を高めることができます。

夜景モード

暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮影することができます。シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

- フラッシュは使用できません。
- ホログラフィックAFは発光しません。

夜景＆人物モード

夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使います。シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

- 夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際だたせた画像を撮影することができます。
- フラッシュが強制発光します。

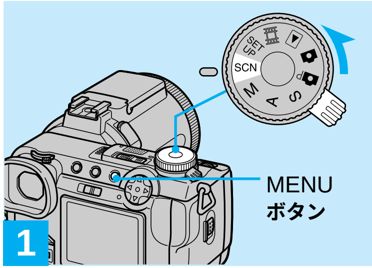
風景モード

遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。

- マクロ撮影はできません。
- フラッシュは自動発光しません。
- ホログラフィックAFは発光しません。

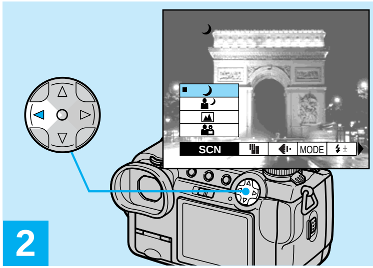
ポートレートモード

背景をぼかし、被写体の人物を際だたせた画像を撮影することができます。

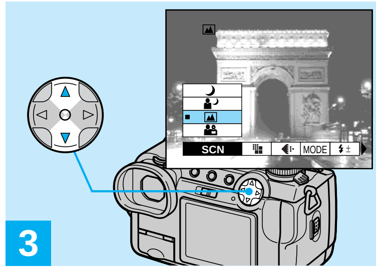


➡ モードダイヤルを「SCN」にして、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。



➡ コントロールボタンの◀で[SCN]を選ぶ



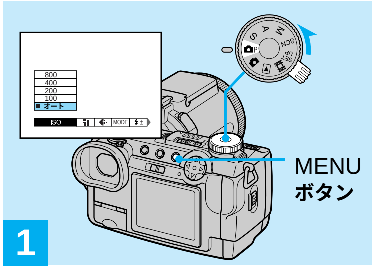
➡ コントロールボタンの▲/▼で希望のモードを選ぶ

モードが確定します。
設定が終わったら、MENUボタンを押してください。画面からメニューが消えます。

シーンセレクションを解除するには
モードダイヤルを「SCN」以外にしてください。

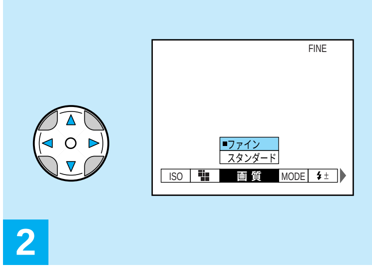
- ここで選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

静止画の画質を決める



➡ モードダイヤルを「📷P」にしてから、電源を入れ、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。



➡ コントロールボタンの◀/▶で［◀⠿］（画質）を選ぶ。▲/▼で希望の画質を選ぶ

画質が確定します。
設定が終わったら、MENUボタンを押してください。画面からメニューが消えます。

- モードダイヤルを「S」、「A」、「M」、「SCN」の位置にしても操作できます。

- 画質は［ファイン］（高画質）と［スタンダード］（標準）の2種類から選ぶことができます。
- ここで選んだ画質の設定は、電源を切った後も保持されます。

画像サイズと画質について

撮影目的に合わせて、画像のサイズ（画素数）と画質（圧縮率）を選ぶことができます。画像サイズを大きく、画質を高くするほど、画像はきれいになりますが、データ容量が大きくなり、“ メモリースティック ”に記録できる枚数は少なくなります。
目的に合った画像サイズと画質をお選びください。
撮影した画像のサイズをあとで変えることもできます（リサイズ機能、**別冊応用編** ➡ 34ページ）。

画像サイズは下記の5種類から選ぶことができます。用途例は、その画像サイズに適する最小画素数の場合です。よりきれいな画像にするときは、画像サイズを大きくしてください。

画像サイズ	**用途例**
2560×1920	高精細プリント
2560（3:2）	3:2プリント*
2048×1536	A4サイズの印刷
1280×960	ハガキサイズの印刷
640×480	ホームページ作成

* プリント紙の横縦比3:2に合うように、画像を3:2で撮影します。

“ メモリースティック ”1枚に記録できる枚数**

枚数はファイン（スタンダード）の順で記載されています。

（単位：枚）

画像サイズ ＼ 容量	16MB	32MB	64MB	128MB	MSX-256	MSX-512	MSX-1G
2560×1920	6 (11)	12 (23)	25 (48)	51 (96)	92 (174)	188 (354)	384 (723)
2560（3:2）	6 (11)	12 (23)	25 (48)	51 (96)	92 (174)	188 (354)	384 (723)
2048×1536	10 (18)	20 (37)	41 (74)	82 (149)	148 (264)	302 (537)	617(1097)
1280×960	24 (46)	50 (93)	101 (187)	202 (376)	357 (649)	726 (1320)	1482 (2694)
640×480	97 (243)	196 (491)	394 (985)	790 (1975)	1428 (3571)	2904 (7261)	5928(14821)

** 撮影モードが［通常撮影］の場合
その他のモードの記録枚数は**別冊応用編** ➡ 68ページをご覧ください。

- 本機の画面で見るときはどの画像サイズでも同じ大きさに見えます。
- 記録枚数は、撮影状況によって数値と異なる場合があります。
- 撮影残枚数が9999枚より多いときは、＞9999と表示されます。

本機の画面で見る



撮影した画像を本機の画面ですぐに見ることができます。表示方法は下記の3種類から選ぶことができます。

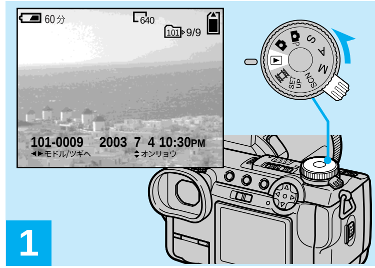
シングル（1枚表示）画面
1枚の画像を画面いっぱいで見ることができます。

インデックス（9枚表示）画面
9枚の画像を同時に見ることができます。

インデックス（3枚表示）画面
3枚の画像を同時に見ることができます。画像情報も表示できます。

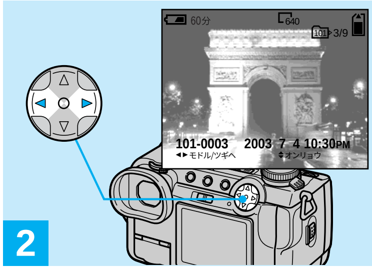
- 動画の再生については、**別冊応用編**➞38ページをご覧ください。
- 画像に表示されるマークについては、**別冊応用編** ➞ 85ページをご覧ください。

シングル画面で見る



➡ モードダイヤルを「▶」にして、電源を入れる

選択している記録フォルダ（**別冊応用編** ➞ 28ページ）の最新画像が表示されます。

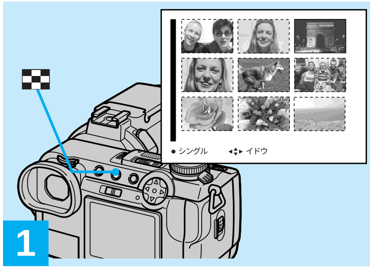


→ コントロールボタンの◀/▶で静止画を選ぶ

◀：前の画像が表示されます。
▶：次の画像が表示されます。

• ジョグダイヤルを回して、画像を先送りしたり、前に戻したりできます。

インデックス（9枚/3枚表示）画面で見る



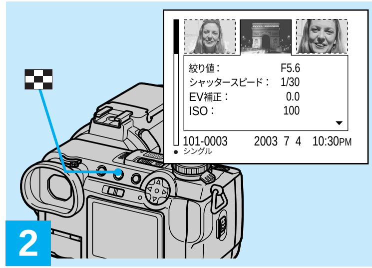
→ ボタンを1回押す

インデックス（9枚表示）画面に切り換わります。

次（前）のインデックス画面を表示するには

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して、黄色い枠を上下左右に動かしてください。

• ジョグダイヤルを回して、画面を先送りしたり、前に戻したりできます。



→ ボタンをもう1回押す

インデックス（3枚表示）画面に切り換わります。
コントロールボタンの▲/▼を押すと残りの画像情報が表示されます。

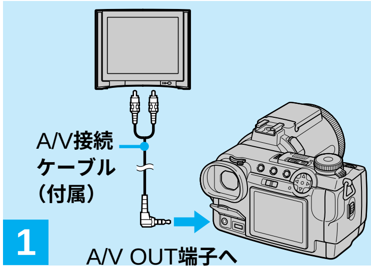
次（前）のインデックス画面を表示するには

コントロールボタンの◀/▶を押してください。

シングル画面に戻るには

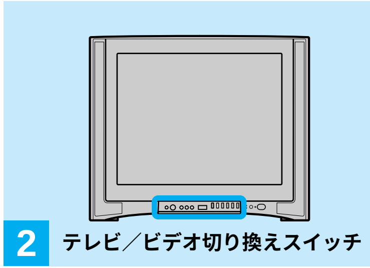
ボタンを繰り返し押すか、コントロールボタンの中央の●を押してください。

テレビで見る

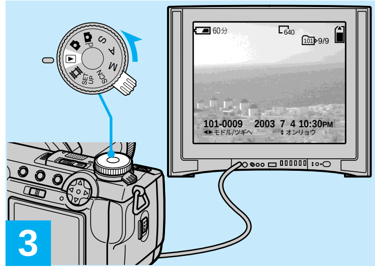


➡ **A/V接続ケーブルで本機のA/V OUT（MONO）端子と、テレビの音声／映像入力端子を接続する**

テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはA/V接続ケーブルの音声プラグ（黒）を左音声端子に接続してください。



➡ **テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする**

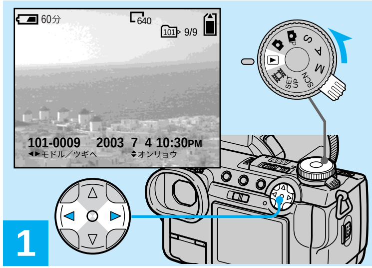


➡ **モードダイヤルを「▶」にして、本機の電源を入れる**

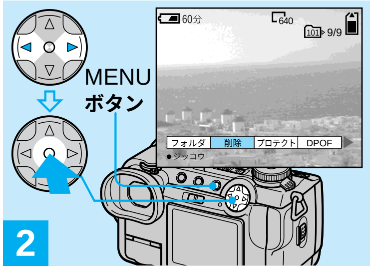
コントロールボタンの◀/▶で画像を選びます。

- 本機とテレビの電源を切ってからA/V接続ケーブルをつないでください。
- お使いのテレビによって、スイッチの名称や位置は異なります。
- 海外でお使いのときは、SET UPの［ビデオ出力信号］の切り換えが必要な場合もあります（**別冊応用編**➡ 76ページ）。

静止画を削除する

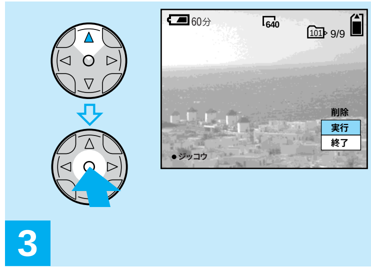


➡ **モードダイヤルを「▶」にし、電源を入れる。**
コントロールボタンの◀/▶で削除したい画像を表示する



➡ **MENUボタンを押し、コントロールボタンの◀/▶で［削除］を選び、中央の●を押す**

この時点ではまだ削除されていません。



➡ **コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す**

「アクセス中」という表示が消えると、画像が削除されます。

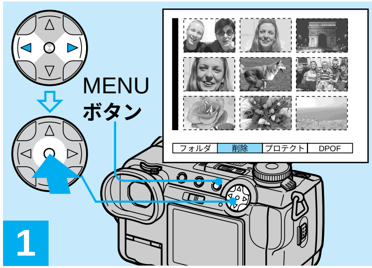
続けて他の画像も削除するには

コントロールボタンの◀/▶で削除したい画像を表示し、［削除］を選び、中央の●を押してください。その後、▲で［実行］を選び、中央の●を押してください。

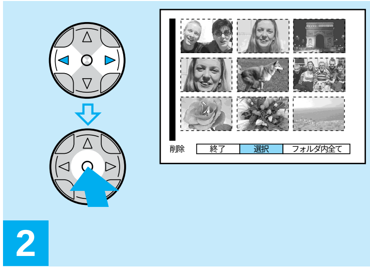
削除を中止するには

コントロールボタンの▼で［終了］を選び、中央の●を押してください。

インデックス（9枚表示）画面で削除する



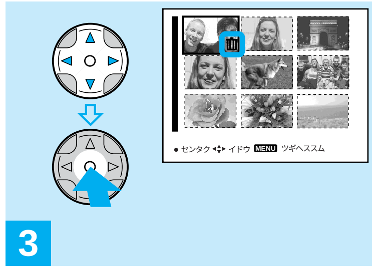
➡ **インデックス（9枚表示）画面（32ページ）で、MENUボタンを押す。**
コントロールボタンの◀/▶で［削除］を選び、中央の●を押す



➡ **コントロールボタンの◀/▶で［選択］を選び、中央の●を押す**

フォルダ内のすべての画像を削除するには

コントロールボタンの▶で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押してください。次に［実行］を選び、中央の●を押してください。削除を中止するときは［終了］を選び、中央の●を押してください。

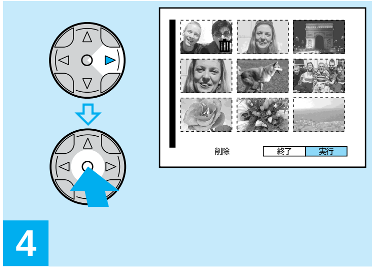


➡ **削除したい画像をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す**

選んだ画像に緑色の🗑マークがつきます。この時点ではまだ削除されていません。削除したいすべての画像に🗑マークをつけてください。

• 選択を取り消すには、もう1度取り消したい画像を選んで中央の●を押してください。

インデックス（9枚表示）画面で削除する（つづき）



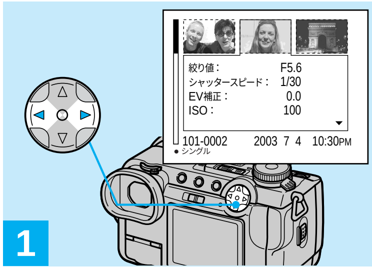
➡ **MENUボタンを押し、コントロールボタンの▶で［実行］を選び、中央の●を押す**

「アクセス中」という表示が消えると、画像が削除されます。

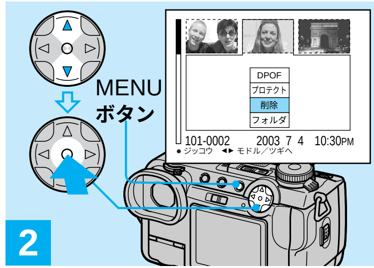
削除を中止するには

コントロールボタンの◀で［終了］を選び、中央の●を押してください。

インデックス（3枚表示）画面で削除する

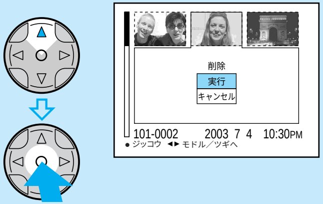


➡ **インデックス（3枚表示）画面（32ページ）で、コントロールボタンの◀/▶で削除したい画像を中央に表示する**



➡ **MENUボタンを押し、コントロールボタンの▼/▲で［削除］を選び、中央の●を押す**

この時点ではまだ削除されていません。



3

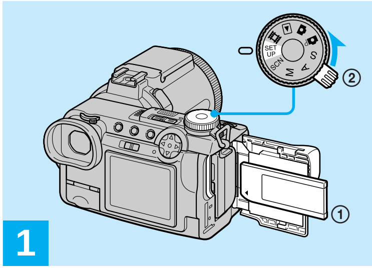
➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す

「アクセス中」という表示が消えると、中央の画像が削除されます。

削除を中止するには

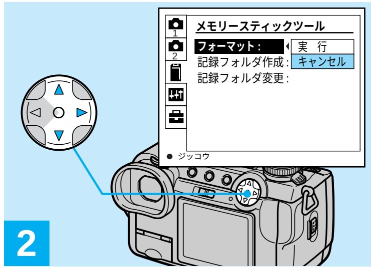
コントロールボタンの▼で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

“メモリースティック”をフォーマットする



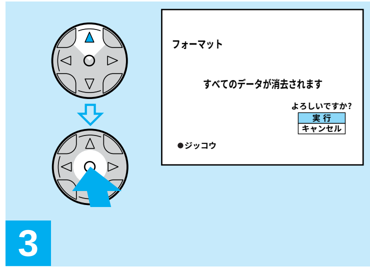
➡ フォーマットしたい“メモリースティック”を入れる。モードダイヤルを「SET UP」にして、電源を入れる

- 「フォーマット」とは、“メモリースティック”に画像を記録できるようにする作業のことで、「初期化」とも言います。本機に付属、または市販の“メモリースティック”はすでにフォーマットされており、すぐにお使いになれます。
- **フォーマットすると、“メモリースティック”内のデータはすべて消去されますので、ご注意ください。**



➡ コントロールボタンの▲/▼で[▮]（メモリースティックツール）を選ぶ。
▶で［フォーマット］を選ぶ。
▶を押し、▲で［実行］を選び、中央の●を押す

フォーマットを中止するには
コントロールボタンの▼で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。



➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す

「フォーマット中」という表示が出ます。表示が消えると、フォーマットが完了します。

静止画をパソコンに取り込むまで

右記のような流れで、本機で撮影した画像をパソコンに取り込みます。

お使いのOSでの手順は

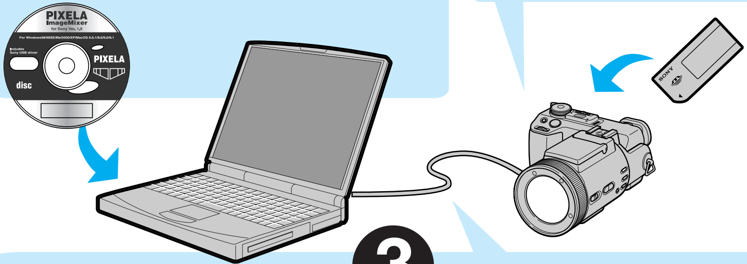
OSによって手順❶が不要な場合があります。

OS	手順
Windows 98/ 98SE/2000/Me	手順❶～❺すべて（41～48、51ページ）
Windows XP	手順❷～❺（44、45、49～51ページ）
Mac OS 8.5.1/ 8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1)	54、55ページ

1 ***USBドライバーをインストールする**** *(41ページ)*

* 2回目以降、画像を取り込むときは不要です。

2 ***本機とパソコンを準備する*** *(44ページ)*



3 ***USBケーブルで接続する*** *(45ページ)*

4 ***画像ファイルをパソコンにコピーする*** *(46ページ)*

5 ***パソコンで画像を見る*** *(51ページ)*



パソコンの推奨使用環境

■ Windowsパソコン環境

OS: Microsoft Windows 98/
Windows 98SE/
Windows 2000 Professional/
Windows Millennium Edition/
Windows XP Home Edition/
Windows XP Professional
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は動作保証いたしません。

CPU: MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ: 800×600ドット以上
High Color（16 bitカラー、65 000色）以上

- 本機はUSB2.0に対応しています。
- USB2.0（High Speed）対応のパソコン環境でご使用いただくと、従来より高速*なデータ転送が可能となります。

* 当社従来モデルDSC-F707比で約1.5倍。

■ Macintoshパソコン環境

OS: Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1)
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
ただし、次のモデルの場合はMac OS 9.0/9.1にアップデートしてご使用ください。

– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされていて、CD-ROMドライブがスロットローディングのiMac
– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされているiBook、Power Mac G4

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ: 800×600ドット以上、32 000色モード以上

- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

USBモードについて

USBモードには［標準］と［PTP］*の2通りの接続方法があり、お買い上げ時には［標準］に設定されています。

* Windows XP、Mac OS Xのみ対応。パソコン接続時に、本機で選択したフォルダ内のデータのみをパソコンにコピーします。フォルダを選択するには**別冊応用編** ➡ 28ページの手順2から行ってください。

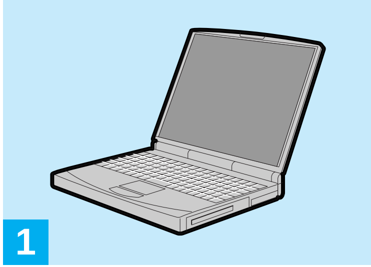
パソコンとの通信について

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

USB端子がないパソコンをお使いの場合は

USB端子も“メモリースティック”スロットもないパソコンをお使いの場合は、アクセサリーを使うことにより画像を取り込めます。詳しくは、デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-di/

❶ USBドライバーをインストールする 98 98SE 2000 Me



1

→ パソコンの電源を入れる

この時点では、本機をパソコンに接続しないでください。

- ここでは、Microsoft Windows Meの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。
- **パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。**
- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。



2

→ 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

しばらくすると、タイトル画面が表示されます。
タイトル画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の 🖳（マイ コンピュータ）→ IMx（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

- **ディスプレイの設定を800×600ドット以上、High Color（16bitカラー、65 000色）以上にしてください。800×600ドット未満、256色以下ではタイトル画面が表示されません。**



3

→「USB Driver」の部分に↖（ポインタ）を動かし、クリックする

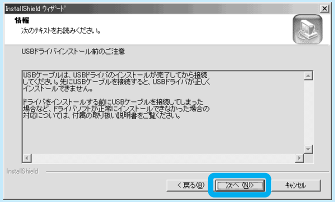
「Sony USB Driver用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。



4 ここをクリックする

➡ **[次へ] をクリックする**

「情報」画面が表示されます。



5 ここをクリックする

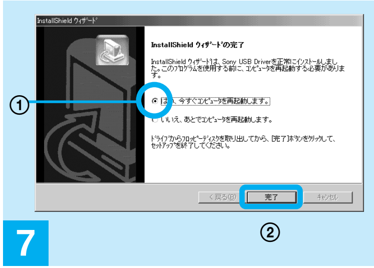
➡ **[次へ] をクリックする**

USBドライバーのインストールが始まります。



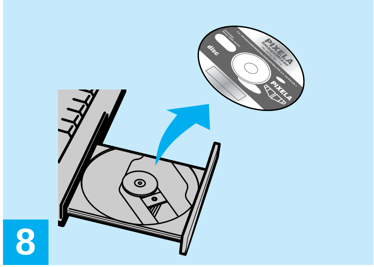
6

➡ **[InstallShieldウィザードの完了] 画面が表示されます**



➡「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」の○をクリックして◉にし、［完了］をクリックする

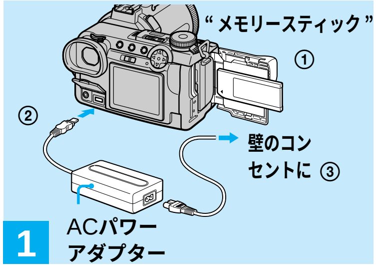
パソコンの電源が一度切れ、すぐに入ります（再起動）。



➡再起動後に、パソコンからCD-ROMを取り出す

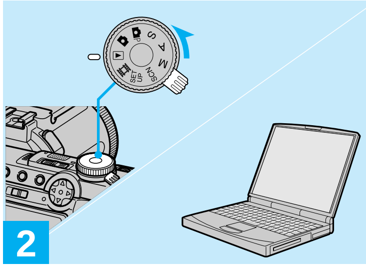
本機とパソコンでUSB接続ができるようになります。

❷ 本機とパソコンを準備する 98 2000 XP 98SE Me



➡ 本機に画像を記録した“ メモリースティック ”を入れる。本機とACパワーアダプターをつなぎ、壁のコンセントにつなぐ

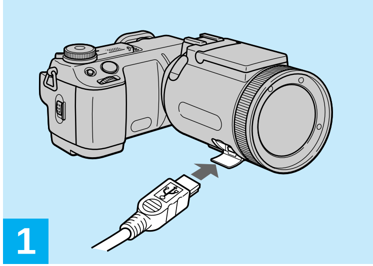
- ACパワーアダプターについては、12ページをご覧ください。
- “ メモリースティック ”については、16ページをご覧ください。



➡ 本機とパソコンの電源を入れる

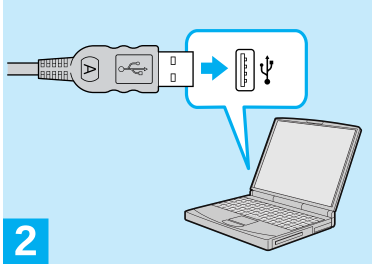
本機のSET UPの［USBモード］を［標準］にしてください（**別冊応用編** ➡ 76ページ）。
お買い上げ時は［標準］に設定されています。

❸ USBケーブルで接続する 98 2000 XP 98SE Me



1

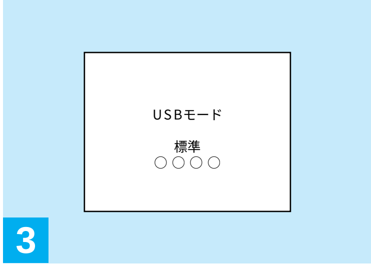
→ 付属のUSBケーブルを
ψ(USB) 端子につなぐ



2

→ USBケーブルをパソコンの
USB端子につなぐ

- デスクトップ型パソコンをお使いの場合は、パソコン後面のUSB端子をご使用ください。
- Windows XPをお使いの場合は、パソコンの画面に自動再生ウィザードが表示されます。49ページにお進みください。

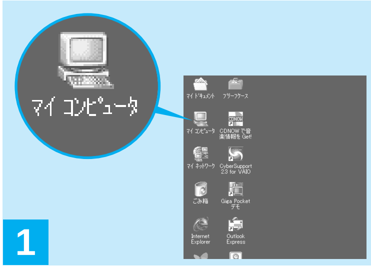


3

本機の液晶画面に「USBモード 標準」と表示されます。
初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

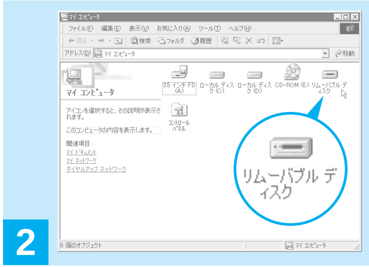
- 手順❸を終了しても「USBモード 標準」と表示されないときは、本機のSET UPの［USB接続］が［標準］になっているか確認してください（**別冊応用編** ➞ 76ページ）。

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする 98 98SE 2000 Me （XP 49～50ページ）



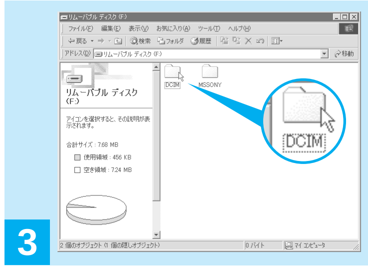
➡ ［マイ コンピュータ］をダブルクリックする

「マイ コンピュータ」画面が表示されます。



➡ ［リムーバブル ディスク］をダブルクリックする

本機内の“メモリースティック”の内容が表示されます。

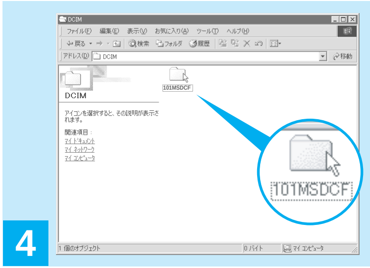


➡ ［DCIM］をダブルクリックする

「DCIM」フォルダの内容が表示されます。

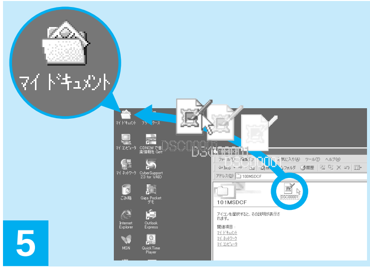
- ここでは、「マイドキュメント」というフォルダに画像をコピーします。

- リムーバブル ディスクが表示されていないときは、48ページをご覧ください。



➡ 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリックする

フォルダの内容が表示されます。

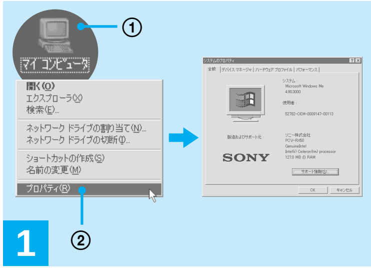


➡ 画像ファイルを「マイドキュメント」フォルダにドラッグ＆ドロップする

「マイドキュメント」フォルダに画像ファイルがコピーされます。

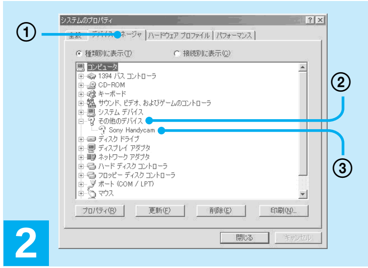
- 同じファイル名の画像をパソコンの同じフォルダにコピーすると、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のフォルダの内容は消えます。

「リムーバブル ディスク」が表示されないときは



→ [マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

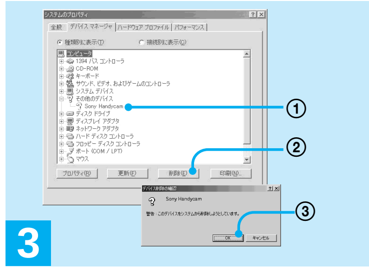


→ 別のデバイスが表示されていないか確認する

① [デバイス マネージャ] をクリックする。

② [その他のデバイス] をダブルクリックする。

③“ ”マークの付いた「Sony DSC」または「Sony Handycam」がないか確認する。



→ 表示されていたら削除する

① 「Sony DSC」または「Sony Handycam」をクリックする。

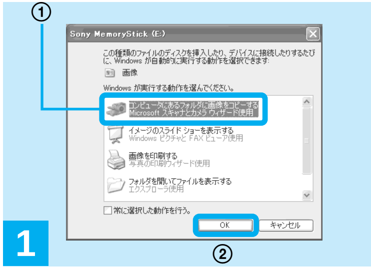
② [削除] をクリックする。
「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

③ [OK] をクリックする。
デバイスが削除されます。

デバイスを削除したあと、付属のCD-ROMのUSBドライバーをインストールし直してください（41ページ）。

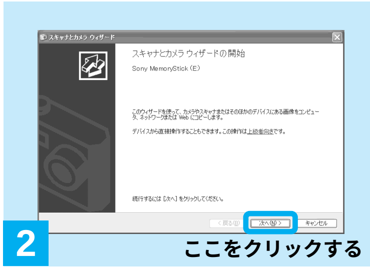
- Windows 2000をお使いの方は、「システムのプロパティ画面」の [ハードウェア] タブをクリックしてください。

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする XP



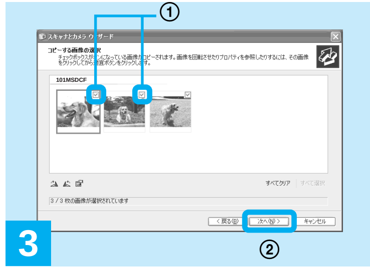
➡ コピーウィザード画面で［コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。Microsoftスキャナとカメラウィザード使用］をクリックし、[OK] をクリックする

「スキャナとカメラ ウィザードの開始」画面が表示されます。



➡ ［次へ］をクリックする

本機の“ メモリースティック ”に記録されている画像が表示されます。



➡ パソコンにコピーしない画像の ☑ をクリックして □ にし、［次へ］をクリックする

「画像の名前とコピー先」画面が表示されます。

- 45ページの手順を行うと、パソコンの画面にコピーウィザードが表示されます。



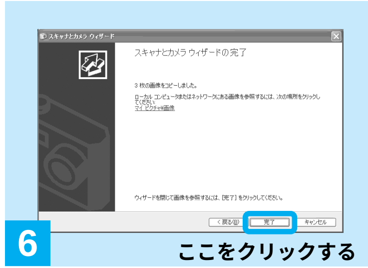
→ 画像の名前とコピー先を指定し、［次へ］をクリックする

画像のコピーが始まります。コピーが終了すると、「そのほかのオプション」画面が表示されます。



→［作業を終了する］を選び、［次へ］をクリックする

「スキャナとカメラのウィザードの完了」画面が表示されます。



→［完了］をクリックする

ウィザード画面が閉じます。

• ここでは、画像のコピー先を「マイドキュメント」にしています。

• 続けて画像をコピーしたい場合は、51ページの手順に従ってUSBケーブルを一度抜き差しして、手順**1**から行ってください。

❺ パソコンで画像を見る

USBケーブルを抜く、“メモリースティック”を取り出す、または電源を切るときは

Windows 2000/Me/XPをお使いの場合は

1 タスクトレイの をダブルクリックする。

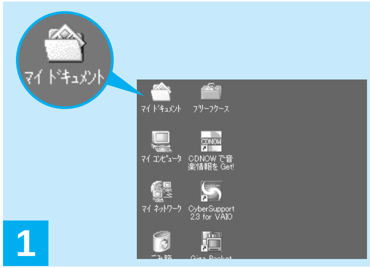
2 (Sony DSC)をクリックし、[停止]をクリックする。

3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする。

4 [OK]をクリックする。
Windows XPをお使いの方は、この手順は不要です。

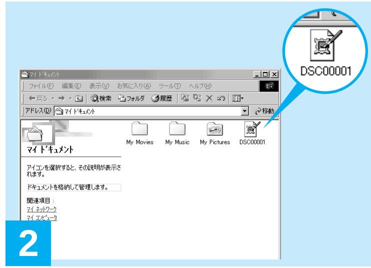
5 USBケーブルを抜く、“メモリースティック”を取り出す、または電源を切る。

Windows 98/98SEをお使いの場合は
手順5のみ行ってください。



➡ デスクトップ画面上の[マイドキュメント]をダブルクリックする

「マイドキュメント」フォルダの内容が表示されます。



➡ 見たい画像ファイルをダブルクリックする

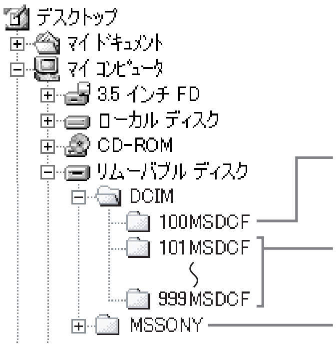
画像が開きます。

- 46、49ページで、「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーした場合の説明です。
- Windows XPをお使いの場合は、[スタート]→[マイドキュメント]をクリックしてください。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、“メモリースティック”内のフォルダにまとめられています。

Windows Meで見たときの例



フォルダ作成機能がないカメラで撮影した画像ファイルのフォルダ

本機で撮影した画像ファイルのフォルダ。新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」のみです。

フォルダ作成機能がないカメラで撮影したEメールモード、TIFFモードの画像データ／動画データ／ボイスメモの音声データのフォルダ

- 「100MSDCF」または「MSSONY」フォルダに入っているファイルはフォルダ作成機能がないカメラで撮影されたファイルです。これらのフォルダには本機で画像を記録できません。再生のみ可能です。

次ページの表について

- ファイル名の意味は以下の通りです。□□□□には0001から9999までの数字が入ります。
- 下記のファイルの数字部分は同じになります。
  – Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイルとその画像ファイル
  – ボイスメモモードで撮影した音声ファイルとその画像ファイル
  – TIFFモードで撮影した非圧縮画像ファイルとその画像ファイル
  – クリップモーションで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル

このフォルダの中にある	ファイル名	ファイルの内容
101MSDCF 〜 999MSDCF	DSC0□□□□.JPG	• 以下のモードで撮影した画像ファイル －通常撮影モード（18ページ） －ブラケットモード（**別冊応用編**→ 15ページ） －3枚連写モード（**別冊応用編**→ 21ページ） －マルチ連写モード（**別冊応用編** → 20ページ） • 以下のモードで同時に撮影した画像ファイル －TIFFモード（**別冊応用編** → 22ページ） －Eメールモード（**別冊応用編** → 23ページ） －ボイスメモモード（**別冊応用編**→ 23ページ）
	DSC0□□□□.JPE	• Eメールモードで撮影した通常よりサイズの小さい画像ファイル（**別冊応用編** → 23ページ）
	DSC0□□□□.MPG	• ボイスメモモードで撮影した音声つきファイル（**別冊応用編**→ 23ページ）
	DSC0□□□□.TIF	• TIFFモードで撮影した非圧縮画像ファイル（**別冊応用編** → 22ページ）
	CLP0□□□□.GIF	• クリップモーションのノーマルモードで撮影した画像ファイル（**別冊応用編** → 19ページ）
	CLP0□□□□.THM	• クリップモーションのノーマルモードで撮影したとき、同時に撮影されるインデックス画像ファイル
	MBL0□□□□.GIF	• クリップモーションのモバイルモードで撮影した画像ファイル（**別冊応用編** → 19ページ）
	MBL0□□□□.THM	• クリップモーションのモバイルモードで撮影したとき、同時に撮影されるインデックス画像ファイル
	MOV0□□□□.MPG	• MPEGムービーモード撮影した動画ファイル（**別冊応用編** → 37ページ）

Macintoshをお使いの場合

Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1)をお使いの方は手順❷から操作してください。
ディスプレイの設定を800×600ドット以上、32 000色モード以上にしてください。

❶USBドライバーをインストールする（Mac OS 8.5.1/8.6/9.0のみ）

1 パソコンの電源を入れる。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。
「Pixela ImageMixer for Sony」画面が表示されます。

3 （Setup Menu）をダブルクリックする。

4 表示された画面 （USB Driver）をクリックする。
「USB Driver」画面が表示されます。

5 OSの入っているハードディスクアイコンをダブルクリックして、画面を開く。

6 手順4で開いたウィンドウから、下記の2つのファイルを、手順5で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動（ドラッグ＆ドロップ）する。
- Sony USB Driver
- Sony USB Shim

7 確認のメッセージが表示されたら［OK］をクリックする。

8 パソコンを再起動し、CD-ROMを取り出す。

❷本機とパソコンを準備する

詳しくは、44ページをご覧ください。

❸USBケーブルで接続する

詳しくは、45ページをご覧ください。

USBケーブルを抜く、“ メモリースティック ”を取り出す、または電源を切るときは
“ メモリースティック ”のアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてから、USBケーブルを抜く、“ メモリースティック ”を取り出す、または電源を切ってください。

- Mac OS Xをお使いの場合は、パソコンの電源を切ってからUSBケーブルを抜くなどの作業を行ってください。

❹画像ファイルをパソコンにコピーする

1 デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。
本機内の“ メモリースティック ”の内容が表示されます。

2 ［DCIM］をダブルクリックする。

3 取り込みたい画像の入ったフォルダをダブルクリックする。

4 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされます。

❺パソコンで画像を見る

1 ハードディスクアイコンをダブルクリックする。

2 画像ファイルをフォルダの中から選んでダブルクリックする。
画像が開きます。

Mac OS Xをお使いの方へ

Eメールモードの画像ファイルをクリックした際、「書類“ DSC0□□□□.JPE ” を開くことができるアプリケーションがありません」という画面が出たときは、以下の設定をおこなってください。

- バージョンによって、画面表示が異なることがあります。

1「書類“ DSC0□□□□.JPE ”を開くことができるアプリケーションがありません」画面の［アプリケーション選択］をクリックする。

2「表示」を［推奨アプリケーション］から［全アプリケーション］に変更する。

3 アプリケーションが一覧表示されている部分から、［QuickTime Player］を選択し、［開く］をクリックする。

デジタル
イメージング
カスタマー
ご登録

電話のおかけ間違いにご注意ください。

お客様へのサポートをより充実させていくため、「カスタマーご登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ **カスタマーご登録およびご登録内容の変更：**
http://www.sony.co.jp/di-regi/
お問い合わせ：**ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク**
電話：03-5977-7255
受付時間：**月～金曜日　午前10時～午後6時**（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

パソコンとの接続方法や最新サポート情報

デジタルイメージングカスタマーサポート
http://www.sony.co.jp/support-di/

ご使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター
電話：　0564-62-4979
（電話のおかけ間違いにご注意ください。）
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話の前に以下の内容をご用意ください。
①お客様のカスタマーID
（カスタマーご登録していただくとIDが発行されます。）
②本機の型名（本機底面をご覧ください。）
③本機の製造番号（本機底面をご覧ください。）

修理申し込み

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、左記のテクニカルインフォメーションセンターへお電話ください。
お客様のお宅まで指定宅配便で取りにおうかがいします。

3078045O2

eco info
この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショット、マビカの最新情報を掲載。
撮影方法やアクセサリー情報、
パソコン接続に関する情報を掲載しています。